

はじめに

北斎場は、明治9年に民営により開設され、明治40年2月に本市が引継ぎ、古くから長柄の斎場として市民生活に密着してきました。

建物は、昭和12年度に、木造から鉄筋へ大改修を行いました。すでに60年以上が経ち、施設の老朽化が顕著なことから、平成9年度から平成12年度にかけて全面建替工事を行いました。

また、建替整備にあたりましては、周辺地域の都市化が進んでいることから、都市型斎場として、地域との調和を図るため景観に配慮するとともに、環境保全の観点からも、クリーンエネルギーである都市ガスを燃料とするなど、より高度な公害防止設備を導入して万全を尽くしております。

外観につきましても、斎場としての概念を払拭し、故人の最後の告別の場にふさわしい荘厳さを備えた建物で、遺族の悲しみをいやせる心こもった空間を演出した建物とするほか、ご利用の方々が円滑に移動できるようにエレベーターやエスカレーターを設置しております。